

# 一般質問

## 第5次総合計画推進の 取り組みについて



白木 和廣 議員

### 町長 計画に沿って 施策を実施する

**問** 従来型の役場目線での策定とは異なり、町民の意見をよく反映して策定された第5次総合計画（以下、総合計画）の推進にかかる取り組みについて問う。

総合計画がスタートして9カ月が経過したが、本町の人口は減少の1途をたどっている。少子高齢化の影響と見る向きもあると思うが、今後の町政施策の方向性について、町長の考えを伺う。

また、人口減少には働

く場が縮小していることも影響していると考えられる。働く場の確保の取り組み状況を伺う。

**町長** 西当別地域には未分譲地が相当数存在している。分譲地を販売し、転入者の増加を図るために電化・定住キャンペーンを実施したいと考えている。札幌市に隣接している地理的優位性とJＲの電化、商業施設や企業の誘致などが相乗効果となつて町の魅力をアップさせる。総合計画に掲げた農業を基軸にしたまちづくりだけではなく、現実的な施策を適宜、実施していきたい。

### 姉妹都市交流の あり方について

**問** 平成22年に当別町は開町してから140年を迎える。未来の発展に期待するという意味から記念事業を実施することは大切なことである。

国内外の姉妹都市の方々もお見えになり、町民とのふれあいや産業文化の交流はかけがえのない財産になると考える。記念事業や姉妹都市交

43回続いている  
宇和島の伝統行事  
牛鬼まつり（右）



レクサンドと姉妹  
都市になり26年続く  
当別の夏至祭（左）

流の賛成の立場から是非とも有意義な事業になることを希望する。

そこで記念事業を通じて町民に伝えたいことは何か、どのようにメッセージを発信するのかを伺う。

**町長** 記念式典は10月9日から11日まで、3日間にわたり開催する予定で、姉妹都市のスウェーデン・レクサンド市、宮城県大崎市、愛媛県宇和島市にも式典を案内し、多くの町民の皆さんにも

町内外の伝統文化を理解できる取り組みを期待する

ご参加をいただき、先人の偉業をたたえ、当別町の未来に向けて元気なまちづくりの決意を新たにする事業にしたいと考えている。

平成22年中に行われる夏至祭や文化祭、その他スポーツ大会などのイベントには、当別町140年記念事業の名称を冠にして開催したいと考えている。

町の活力を持続するためにはイベントが最も大切だと考えている。

### 農業政策について

**問** 【仮称】農業振興公社（以下、公社）は、文字どおり農業を振興するためにもどうしても必要であると考えているが、先般、発足した当別町農業振興公社設立準備協議会（以下、協議会）の活動や公社のアウトラインが全く見えてこない。

公社は農・商・工の連携のみならず町民が関わる仕組みが必要であり、その取り組み方を早期に町民に示すべきと考える。公社の基本設計を伺う。

**町長** 公社には、新規就農者対策、有機農産物の販売など農業にまつわる色々な業務がある。

協議会では、これらの業務に取り組むのに必要な予算規模などを検討しているが、公社運営の安定化には時間がかかると思うので、一定期間は町を含め、JA北狩ほか構成団体からも支援をお願いし、最終的には町民や構成団体のみんながメリットを享受できるように、自立できる公社運営をしなければならぬと考えている。

乳がん・子宮頸がん  
無料検診の継続を



石川 和栄 議員

町長

国に継続要望

していきたい

問 乳がん・子宮頸がんから女性の生命を守るため、今回の無料クーポン券による検診が平成21年度の補正予算に盛り込まれ、一定の年齢に達した女性を対象に行われている。

この無料クーポン券による検診が今回限りだと年齢が特定されているため一定のしか受けられない。該当するすべての女性が検診を受けられるよう、町として無料で受けられる女性特有のがん検診を来年度以降も実施するのか、考えを伺う。

階では国からまだ通知が来ていないことから、町として継続していただくよう国に要望活動を行い、事業内容の変更や国庫補助等の財源などの動向を見きわめながら、町村会などと適切な対応をとって進めていきたい。

町長 女性特有のがん検診推進事業は全国的に検診の受診率が低いことから、子育て支援の一環として国が平成21年度補正予算に措置し、本年8月の当別町議会で事業の補正予算を計上し、実施している。現在、子宮頸がん検診を20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の方々に、乳がん検診を40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方々に検診を受けていただくよう、9月1日付けで個別に案内をしているとともに、町広報9月号、11月号でPRを行い、さらに平成22年1月にも周知する予定である。厚生労働省の平成22年度の予算概算要求では、女性特有のがん検診推進事業を継続実施するため114億円が計上されたが、現段

高齢者や障がい者に優しい行政サービスを

問 つえを利用する高齢者や障がい者が安心して役場やゆとろ（総合保健福祉センター）などの公施設に通えるよう、思いやりのある行政サービスに向けて役場一階の住民課をはじめ、申請書類を記入するカウンターや窓口につえを立てかけられる器具を設置してはどうか、考えを伺う。

町長 公共施設の窓口には各種手続、相談のために多くの高齢者や障がいを持った方々がお見えになるが、町は親切的な対応を心がけている。高齢者や障がいを持つ方にとって、つえは体の一部であるとのことから窓口カウンターの形状を配慮し、滑り止めのマットを試行

的に設置したいと考えている。よりよい方向に向けて検討の成果が得られるよう配慮していくのでご理解いただきたい。

学校施設のガラス飛散防止対策について

問 学校の耐震工事の一つとして定着したガラス飛散防止フィルムは、地震などの災害や児童の衝突などによってガラスが割れた場合でも破片が周辺に飛び散らない効果がある。また、紫外線をほぼ完全にカットする特性があるためエコ改修にもつながる。

学校施設の耐震工事の一つとして定着したガラス飛散防止フィルムは、地震などの災害や児童の衝突などによってガラスが割れた場合でも破片が周辺に飛び散らない効果がある。また、紫外線をほぼ完全にカットする特性があるためエコ改修にもつながる。

学校は児童・生徒だけでなく、災害時には地域住民の避難所にもなる大事な場所である。安全を確保するためにも導入する考えがあるか、伺う。



乳がん、子宮頸がんから女性の生命を守るために

町長 公共施設の窓口には各種手続、相談のために多くの高齢者や障がいを持った方々がお見えになるが、町は親切的な対応を心がけている。高齢者や障がいを持つ方にとって、つえは体の一部であるとのことから窓口カウンターの形状を配慮し、滑り止めのマットを試行



安全性確保のために  
ガラス飛散防止対策を

人口減少の歯止め策は



後藤 正洋 議員

町長

我々みんなが努力しなければならぬ

問 第5次総合計画（以下、総合計画）の想定人口の2万人が既に1万9千人を切り減少傾向にある。これに対する早急な対応と総合計画の個別計画の優先度・達成順位を考え、民意を尊重してその実施を確実なものとする事が重要と考える。総合計画の一つの具体策として、学生の居住を促進するための町づくりについて、早急に対応しなければならぬと思う。学園都市線が電化され、利便性が向上すると益々定住しないことが懸念されているが、検討はどの段階まで進んでいるのか伺う。

町長 学生の町内居住の促進は、アパートやマン



学生居住の促進を検討すべき（北海道医療大学）

ションなどの家賃が札幌と当別とで大きな差がなければ、ほとんどの学生が札幌から通学することを選んでしまうと考えられる。

平成12年度に5割以上あった学生の町内居住率は年々低下し、現在、6割の学生が札幌から通っている深刻な状況になっている。アパート組合のみならず商工会全体で検討していただきたい問題だと考えている。

商店街活性化の

早急な取り組みを

問 町は農産物のブランド化などを通してまちのイメージアップを図り、功を奏していると考えますが、実際に生活する上で魅力アップをいかに具

体化するかが問われると思う。

とりわけ商工振興はその要と考えるが、人口の維持を目的とする具体的な取り組みや、中長期の商工振興策についてどのように考えているのか伺いたい。

また、総合計画にある商店街活性化基本構想とその推進協議会について、現状を打破するために早急に取り組まなければならぬと思うがどうか。

町長 地域経済の活性化を図るために商工業の発展は欠かすことができないことは言うまでもないが、商工会、商店街と町とで十二分に協議をし、新たなアクションを踏み切る時期だと考える。

一部商業者は、自助努力によってアイデアを出しているが、購買力を増強するためには商業者全体が一枚岩になることが不可欠だと考える。

今後、町としても色々和助言をしたいと思っっているので商業者や商工会は新しい方法に挑戦してもらいたいと考える。

新教育長の抱負は

問 新たに就任された山内教育長は西当別小学校の校長時代、地域の伝統や文化を大切にすることが子供達を熱心に教育されたと伺っている。

9月の就任当初の教育行政執行に対し、重視する基本的な考えと取り組むべき課題をどのようにとらえているのか。

また、児童・生徒個人の向上心や全体としての公共心など、将来子ども達が社会を發展させ、秩序を維持していくための義務教育をどのように実践していくこうとするのか伺いたい。

教育長 当別町の総合計画や教育目標の実現を目指し、本町の教育課題や特性等を踏まえながら、学校、家庭、地域社会が連携、協力して知恵や工夫、力を出し合い、それぞれの教育力を高め、活力と

潤いのある確かな教育を推進していきたいと考えている。

次に、児童生徒には思いやりの心や規範意識、公德心、コミュニケーション能力などの豊かな心を育成するために、学習、生活規律の定着やボランティア活動等の体験活動を重視した心の教育を進めることが大切である。

また、向上心を育て将来社会の秩序を維持し、發展させていく力を身につけていくために一人一人に自分の夢や目標を持たせ、その実現を目指す指導、集団や活動の質を高めていく取り組みを、教育活動全体を通して充実していきたいと考えている。



子どもたちが社会を發展させる義務教育を実践せよ

町立西保育所の存続を求める



柏樹 正 議員

町長  
幼稚園・保育所計画に沿って進めていく

問 当別町予算編成の基本的視点について、国の予算で住民負担の増加が予想されるが、町の予算においては住民負担増にならないようにすること。

第2に、安易な民営化、廃止などは行わず、公共サービスの維持に努めること。町立保育所の果たす役割は大事であり、子どもの人口増を見据え本町地区一カ所だけの民間保育所にせず、西保育所は町立として存続を追求していく努力を期待する。夢を持って資格取得をした

保育士が希望を持って町立保育所に就職したのに、民間に移るか別の仕事につかざるを得なくなるという苦悩を考えると、国の制度改善を強く求めながら、公立保育所は残すよう努力、検討すべきであり、平成26年度廃止を検討するとの西保育所は、その観点からも拙速に廃止を結論づけることのないよう求める。



廃止には慎重な対応を（町立西保育所）

第3に、安心、安全の町民生活を支える町政の立場から行政執行に当たって町民の不安の解消に努めること。

第4に、緊急対策として経済対策、雇用の問題について切実な状況は続くと思われ、身近な公共

事業の発注で雇用の確保と、町内の中小商業に対する支援策を強化すべきと思う。

以上について、編成上の力点、留意点とされるよう要望し、町長の考え方を伺う。

町長 町は、たくさんの方の意見が寄せられた第5次総合計画の重点プランの中で民間活力による新しい幼児教育、保育環境の創出を取り組もうとするものである。

十分に議論したことであり、安易に民営化することを決定したわけでもないし、安上がりによいように目指しているものでも断じてないことをご理解いただきたい。

事業仕分けについて

問 民主党政府の事業仕分けは、その項目が公正、適切なのかという問題と国民生活関連事業や中小企業対策の廃止、縮小を一方的にされてきている感がある。当別町の行財政への影響と、国に対してどのような態度、決意や見通しで臨まれるのか伺う。

町長 今は政権交代後の過渡期なので、しばらく民主党政権の動きを見守りながら、地方の考え方を聞いていただく努力を続けることが必要だと考えている。

今後、国の予算が明らかになるにつれて、事業仕分けによる影響が判明するが、現行の補助内容が後退することなく、町の財政や地域の実情を反映するものになるよう、党の幹事長や要人等にも説明に行くことを続けたと思っています。

学校の安全性確保を

問 来年度の重点として耐震工事の課題があるが、日常の学校生活上の安全対策など危険なところ、生徒や先生が不安に感じるところがあれば早急に手当てが必要であり、耐震工事待ちにせず対応すべきである。

災害時の避難所としての位置づけもあるが教育長の考えを伺う。

教育長 本町の学校施設は昭和40年代から50年代に建設された建物が多いことから老朽化が進んで



総務文教厚生常任委員会の学校施設の町内視察（当別中学校体育館）

おり、緊急性の高い箇所である生徒玄関ポーチの天井の補修や漏電等の危険性が高い電気制御盤の入れかえ、トイレの換気扇設置などを行った。

地震防災対策特別措置法に基づき、耐震補強関連工事を最優先とし、大がかりな改修は財政状況も踏まえ、優先度を見きわめながら検討していきたいと考えている。

なお、日常的な学校生活を送る上で危険や不安を感じる箇所の修繕、補修はこれまで通り可能な範囲で対応していく。